
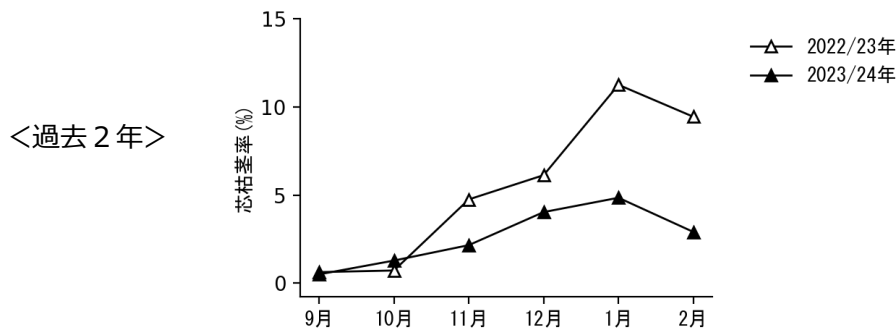
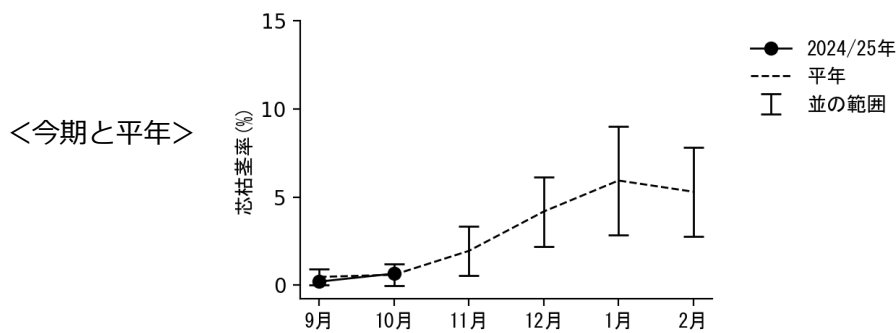


作物	さとうきび	地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチユウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	10 月からの増減傾向	↗	
	11 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

芯枯莖率の推移 (夏植え)



- ・発生種：カンシャシクイハマキ
- ・発生ほ場率50.0% (平年：35.3%)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ莖を枯死させる。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・加害による芯枯れを防止し有効莖を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。
- ・莖葉への乳剤等の散布は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。